



Vol. 1
ギカイホウコク
09
SEP 2020

第2波襲来は？ コロナ禍での 税金のムダ使い に迫る



特集 京都市の
コロナ対策通信簿

見せかけの収支で10年連続の黒字決算
19年度はプラス4億円

すがや浩平
京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

日本維新の会への入党を希望する。 選挙(立候補)に興味がある。 ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	Fax 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会 党员・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党してくださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



▲ポスター(A2サイズ)

毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

【日時】 毎月第2土曜日夕方5時～6時 【場所】 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願 (ポスターサイズ タテ594mm×ヨコ420mm)
「菅谷浩平 議会報告会」のポスター設置場所の提供にご協力いただける方を募集しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章の無断転載、借用、複製は禁じられております。

01 コロナ対策

対策の本身は5段階中の3、予算額は2、スピードとタイミングは最低の1

京都市のこれまでのコロナ対策に成績をつけるのであれば、やはり厳しいならざるを得ない。市民からは京都の府知事や市長が何をしているかよく分からないという意見をいただく。そこで改めて、これまでの京都市のコロナ対策を総括してみたい。

市が7月までに4度議会に提案して成立させた補正予算は総額2535億円。但し、これらのほとんどが国からの交付金をそのまま補正予算に計上しているだけで、市の独自予算は全体の僅か1.2%であったことを知っておいていただきたい。

一方で、大阪の吉村府知事が連日テレビに出て知名度を上げたが、大阪では府の独自政策を自前の財源で数多く行ってきた。コロナ禍になる以前の大阪府の貯金(財政調整基金)は1041億円もあったが、5月末までに75%相当にも上る781億

円をコロナ対策に充ててきた。一方の京都市や京都府はこの財政調整基金がほぼゼロ円のため、国から交付金が下りてくるまで十分な対策が講じられなかった。

たとえば、6月に京都市がおこなった出前利用は想定額の6割に留まった。この施策は大阪府や福岡市では緊急事態宣言下の5月に行われ、政策効果も期待した通りのものとなった。しかし、緊急事態宣言が解除されている6月になって京都市はこともあろうに出前利用の事業を行うとした。私は第2波に備えて予算の執行を遅らせることを提案したが、担当者はベストのタイミングと答弁をし、事業を強行に行った結果が想定額の6割止まりであった。まったくもって予見性がなく、国民の血税である国からの予算を単に垂れ流しにした悪例であったと言える。

02 PCR検査能力

検査能力は目標の半分 評価は5段階中の2

厚生労働省は、新型コロナウイルスの感染が今後も拡大しピークに達した場合、日本国内で必要なPCRの1日当たり検査能力数が5万6千件にも上ることを公表した。これは今年3月から5月にかけての国内の感染データをもとに推計しており、7月末の時点で、47都道府県のうち既に15県がPCR検査能力の目標値を満たしていた。一方で、京都市内のPCR検査可能数は7月末で550件、8月末で800件と、未だ目標の1500件には届いていないことが分かっている。

京都は医療機関のほかにも大学や研究機関が多く、その能力を最大限活用すれば検査体制の早期整備も可能なはず。また、一部の自治体では医師会と連携して、唾液検査を行える診療所を増やす取組みも進む。最悪の事態を想定した検査体制の整備が待たれる。

03 特別定額給付金

大きな混乱こそないものの、早さはいまひとつで3

国の緊急経済対策として一律10万円を支給する特別定額給付金は、人口100万人を超える大都市でその対応に明暗が別れた。5月に入り札幌、神戸、福岡市などが順調に給付作業を進める一方、千葉、名古屋、大阪市などはトラブルもあり給付が進まなかった。

京都市は9月1日時点で、約70万世帯(96.9%)への給付が完了しているが、人口がほぼ同じ神戸市とは手続きのスピードに雲泥の差があった。責任の多くは見切り発車をした国にあるが、市には課題の抽出と改善を求めていきたい。



特別定額給付金10万円の申請期限は9月15日(火)まで。コールセンター(0570-074-428)

見せかけの収支で10年連続の黒字決算 19年度はプラス4億円

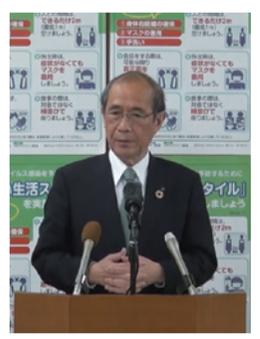
門川市長の就任以降、借金と貯金の取り崩しが続く

令和元年度(19年度)京都市一般会計決算が公表され、実質収支は4億円の黒字であった。但し、この数字には裏がある。将来の借金返済に充てる積立金を50億円も取り崩し、行政改革推進債は34億円も発行、財政調整基金も39億円ぜんぶ取り崩しての黒字決算である。

門川市政がスタートしたのは平成20年度(08年度)のこと。この12年間で将来の借金返済のための積立金は約300億円も取り崩された。大阪で維新の会を立ち上げた当時の橋下徹・大阪府知事が前任の太田房江氏(現参議院議員)の財政手法を問題視し、様々な行革を断行したのだが、正に同じ財政手法を続けているのが門川市政である。門川市長は2月に再選を果たしたばかりで、任期は残り3年以上もある。引き続き京都市政に対しては、是々非々で行財政改革を迫っていききたい。

3750億円の有利子負債を抱える市営地下鉄 来年度以降は更に厳しい決算か

バブル期に建設した地下鉄東西線の影響で交通局の企業債残高は3445億円、累積資金不足も305億円と、自他共に認める全国一厳しい経営状態が続く市営地下鉄。令和元年度決算はコロナの影響があったにも関わらず、23億円の黒字を計上した。しかし、地下鉄事業には約20億円の補助金が市から出ている。交通局はコロナ禍でも市民の足を守ると言うが、利用者はこれまでからも全国一高い運賃を払い続けている。まずは一刻も早い自立経営を達成してもらいたい、コロナ禍で行く末は厳しい。



令和元年度決算について記者会見で説明をする門川京都市長

京都市議会議員・北区
菅谷 浩平 (33)
すがや こうへい



所属政党/日本維新の会
党の役職/京都府総支部幹事長
地域活動/消防団、少年補導、子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

コロナ禍によりかつてないほど自治体のトップに注目が集まるなか、日本では徳川慶喜公による大政奉還が行われた後、約150年もの間、明治維新により始められた中央集権体制が続いている。しかし、北海道から沖縄まで一律に政府が規制や政策を実行するやり方には限界が来ており、既に制度疲労を起している。安倍 前首相が辞任会見で、やり残した課題に憲法改正を挙げておられたが、憲法改正は何も9条に限られるものでない。日本国憲法には第8章「地方自治」の規定があり、これがわが国の地方分権を阻んでいる。新しい首相には、地方自治のあり方そのものを考えるための憲法改正にも取り組んでいただきたい。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所
〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

